

# Assuring Growth and Success with IT

— ITで、確かな成長と成功を —

## 第24期 株主通信

2019年3月期 報告書  
(2018年4月1日～2019年3月31日)



AGS株式会社

証券コード：3648



代表取締役社長 原 俊樹

## 持続的に成長可能な経営基盤の構築に向けて邁進してまいります。

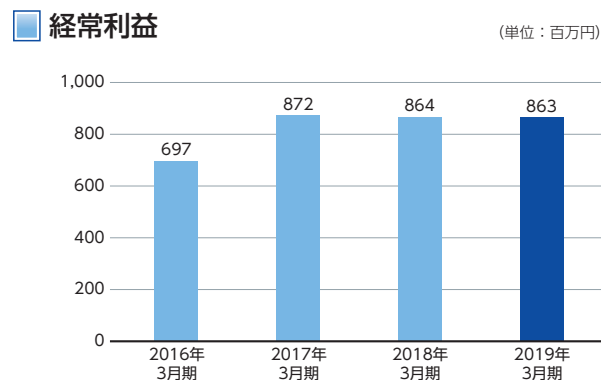
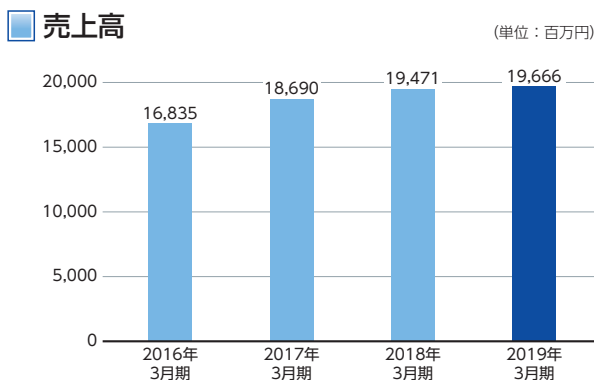
このたび、前社長 石井 進の後任として、AGS株式会社の代表取締役社長に就任いたしました原 俊樹でございます。

株主の皆様には日ごろよりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第24期株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度（2018年4月1日から2019年3月31日）におけるわが国経済は、自然災害などによる一時的な落ち込みはあったものの、政府や日銀の各種政策の効果もあって、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となりました。一方、米中通商摩擦問題の長期化や中国経済を中心とした新興国経済の動向、英国EU離脱問題など海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響などが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業においては、「AI」、「IoT」、「ビッグデータ」、「RPA」などの活用による競争力強化や生産性向上に加え、巧妙化・複雑化するサイバー攻撃に対応するサイバーセキュリティ対策の強化やデジタルトランスフォーメーション（DX）に関連したレガ



シーシステムの刷新、クラウドサービスへの移行、業務プロセスの効率化や自動化などのシステム投資意欲が高まっており、引き続き堅調に推移していくものとみられます。

このような経営環境のもと、当社グループは、経営目標である「持続的に成長可能な経営基盤の構築」の更なる前進を図るべく、長期経営計画「Challenge2021セカンドステージ」の各種施策の実現に向けて、AGSグループの「シナジー効果の発揮」や「IT市場への対応力の強化」及び中長期的な「競争力の強化」に注力し、新規事業・新規サービスの創出、既存サービスの改善及び働き方改革の推進など、事業構造の改革に取り組んでまいりました。

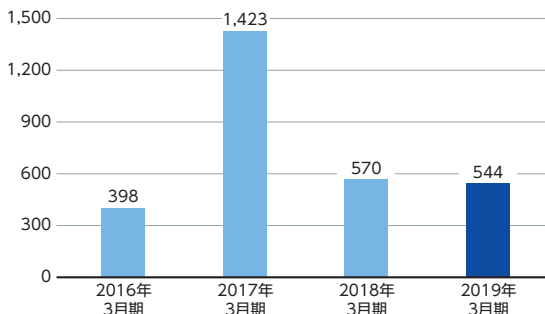
当連結会計年度の業績につきましては、システム機器販売が減少したものの、情報処理サービス及びその他情報サービスの増収などにより、売上高は19,666百万円（前連結会計年度比1.0%増）となりました。

利益面では、人件費などの一般管理費の増加があったものの、売上高の増加並びにソフトウェア開発における利益率の改善などにより、営業利益は概ね前年並みの822百万円（前連結会計年度比0.4%増）、経常利益も概ね前年並みの863百万円（同0.0%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産除却損の計上などにより、前連結会計年度比では4.6%減の544百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

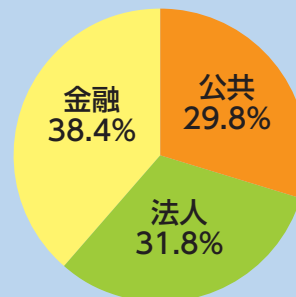


(注) 2017年3月期は、退職金制度の変更などにより、1,211百万円の特別利益を計上いたしました。

## 企業理念

お客様とともに未来を  
創造し、ITで夢のある  
社会づくりに貢献します

## 顧客基盤



バランスのとれた顧客基盤で安定した  
収益構造を実現しています

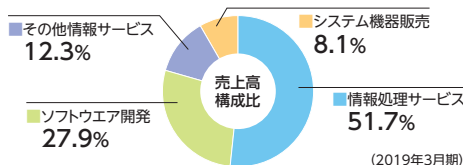
## サービス内容



ITに関するコンサルティングから開発、運用まで  
を一体的に、柔軟かつスピーディーに提供します

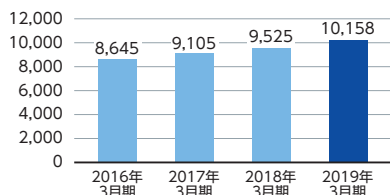
POINT

- 自治体向けIDC運用サービス案件及びクラウドサービス案件の増加
- 金融機関向け機器保守案件及び一般法人向けパッケージソフト販売の増加



情報処理サービス

(単位: 百万円)

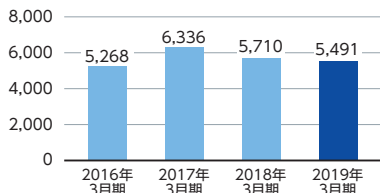


情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリー等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

自治体向けIDC運用サービス案件及びクラウドサービス案件の増加などにより、売上高は10,158百万円（前連結会計年度比6.6%増）、セグメント利益は1,452百万円（同0.6%増）となりました。

ソフトウェア開発

(単位: 百万円)

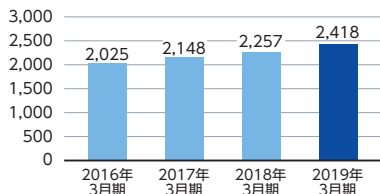


ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

一般法人向けソフトウェア開発案件の減少などにより、売上高は5,491百万円（前連結会計年度比3.8%減）、一方、セグメント利益は、利益率の増加などにより、673百万円（同4.1%増）となりました。

その他情報サービス

(単位: 百万円)

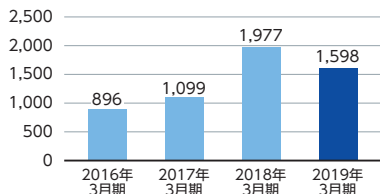


その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

金融機関向け機器保守案件及び一般法人向けパッケージソフト販売の増加などにより、売上高は2,418百万円（前連結会計年度比7.1%増）、セグメント利益は214百万円（同36.7%増）となりました。

システム機器販売

(単位: 百万円)



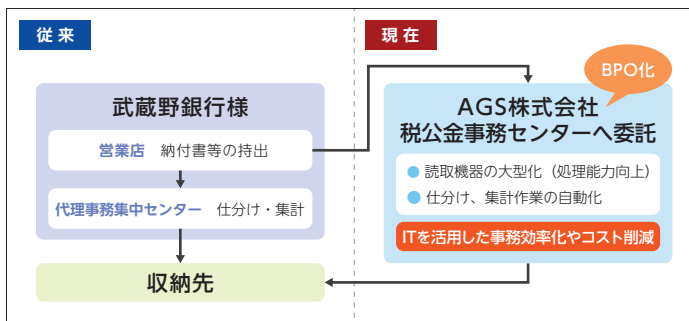
システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

一般法人向け機器販売が減少したことなどにより、売上高は1,598百万円（前連結会計年度比19.1%減）、セグメント利益は10百万円（同44.6%減）となりました。

## 武蔵野銀行様のBPO業務を受託

2018年10月より武蔵野銀行様の税公金業務の受託を開始しました。従来、武蔵野銀行様では、各営業店で受け付けた国税・地方税・公共料金等の納付済み通知書の仕分け・集計・送付等の作業全般を事務センターで集中処理されていましたが、事務効率化や集中事務処理コストの削減を目的として、当社が当該業務を受託することとなりました。

今後、埼玉県内の金融機関における集中業務のBPO化（外部委託）が、急速に進展するものと予想されます。当社は、多数の自治体様からの業務委託を通じて、税公金に係る事務処理の専門ノウハウや最新のインフラを有しており、今後も金融機関の業務効率化やコスト削減などのニーズに応えるため、対応力の強化を図ってまいります。



## 「クラウドソリューション for AWS」提供開始

国内・世界共に最も高いシェアを誇るクラウドサービス「Amazon Web Services(AWS)」の導入から運用まで、ワンストップで提供する「クラウドソリューション for AWS」を2019年3月より提供開始しました。AWSの高度なセキュリティ基盤で稼動する安価で豊富なクラウドサービス群と、当社の最新鋭データセンターを基盤とした、ファシリティ・セキュリティ・技術・人材を組み合わせ提供するトータルソリューションサービスです。

また、当社はAWSのパートナー制度「AWS パートナーネットワーク」において、「セレクトコンサルティングパートナー」の認定を取得いたしました。AWSのコンサルティングパートナー制度は、AWSが提供するパートナープログラムであり、AWS上でお客様のワークロードとアプリケーションの設計、開発、構築、移行、および管理を支援するプロフェッショナル企業として一定の要件を満たしたパートナーが認定されます。今後も、AWS認定資格者の育成や導入・運用支援サービスの品質向上に努めると共に、上位認定へのチャレンジ、AWSを活用したサービスの開発を積極的に推進し、お客様のビジネスに貢献できるよう取り組んでまいります。



※Amazon Web Services、AWS、AWSパートナーネットワークは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当連結会計年度末 (2019年3月31日)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	7,348	7,515
固定資産	9,671	9,488
有形固定資産	5,888	5,666
無形固定資産	1,348	1,407
投資その他の資産	2,434	2,414
<b>1 資産合計</b>	<b>17,020</b>	<b>17,004</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	3,308	3,319
固定負債	2,133	1,868
<b>2 負債合計</b>	<b>5,441</b>	<b>5,187</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	10,994	11,316
資本金	1,431	1,431
資本剰余金	506	506
利益剰余金	9,057	9,405
自己株式	△0	△26
その他の包括利益累計額	583	500
<b>3 純資産合計</b>	<b>11,578</b>	<b>11,816</b>
負債純資産合計	17,020	17,004

(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を2019年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期末においては、遡及処理後の数値を記載しております。

1 資産合計

現金及び預金が257百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が204百万円、投資有価証券が117百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比15百万円減少して17,004百万円となりました。

2 負債合計

負債合計は、リース債務が前連結会計年度末比190百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比254百万円減少して5,187百万円となりました。

3 純資産合計

純資産合計は、剰余金の配当196百万円による減少の一方、親会社株主に帰属する当期純利益544百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末比238百万円増加して11,816百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	19,471	19,666
売上原価	15,451	15,398
売上総利益	4,019	4,267
販売費及び一般管理費	3,200	3,445
営業利益	819	822
営業外収益	83	89
営業外費用	39	48
経常利益	864	863
特別損失	4	25
税金等調整前当期純利益	859	838
法人税、住民税及び事業税	243	261
法人税等調整額	46	32
当期純利益	570	544
親会社株主に帰属する当期純利益	570	544
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>4 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	1,656	1,988
<b>5 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△710	△1,051
<b>6 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	△451	△679
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	494	257
現金及び現金同等物の期首残高	2,865	3,359
現金及び現金同等物の期末残高	3,359	3,617

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は、1,988百万円となり、前連結会計年度より332百万円増加しました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、1,051百万円となり、前連結会計年度より341百万円増加しました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、679百万円となり、前連結会計年度より228百万円増加しました。

**会社概要** (2019年3月31日現在)

商号	AGS株式会社 AGS Corporation
設立	1971年7月
上場市場	東京証券取引所市場第一部 証券コード：3648
資本金	1,431百万円
事業内容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従業員	連結 1,006名
本社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦和ソリューションセンター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザリー株式会社

**役員** (2019年6月21日現在)

代表取締役会長	石井 進
代表取締役社長兼社長執行役員	原 俊 樹
取締役兼副社長執行役員	藤 倉 広 幸
取締役兼常務執行役員	及 川 和 裕
取締役(社外)	森 谷 由美子
取締役(社外)	岡 田 博 之
取締役(社外)	馬 橋 隆 紀
取締役(社外)	川 本 英 利
常勤監査役	細 沼 弘 幸
監査役(社外)	白 田 憲 司
監査役(社外)	橋 本 光 男
監査役(社外)	杉 中 正 樹

**株式の状況** (2019年3月31日現在)

① 発行可能株式総数	64,000,000株
② 発行済株式の総数	17,845,932株
③ 株主数	13,757名
④ 大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
AGS社員持株会	2,024,100	11.36
大栄不動産株式会社	1,280,000	7.18
富士通株式会社	1,200,000	6.74
富士倉庫運輸株式会社	1,000,000	5.61
株式会社りそな銀行	800,000	4.49
株式会社ティー・アイ・シー	600,000	3.37
埼玉県民共済生活協同組合	600,000	3.37
千葉県民共済生活協同組合	480,100	2.69
武州瓦斯株式会社	401,000	2.25
第一生命保険株式会社	400,000	2.25
株式会社KSK	400,000	2.25
兼松エレクトロニクス株式会社	400,000	2.25

(注) 持株比率は自己株式(29,752株)を控除して計算しております。

**株主メモ**

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒183-0044 及 び 東京都府中市日鋼町1-1
電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	当社ホームページ ( <a href="https://www.ags.co.jp/">https://www.ags.co.jp/</a> ) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
お取扱窓口	お取引の証券会社等
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

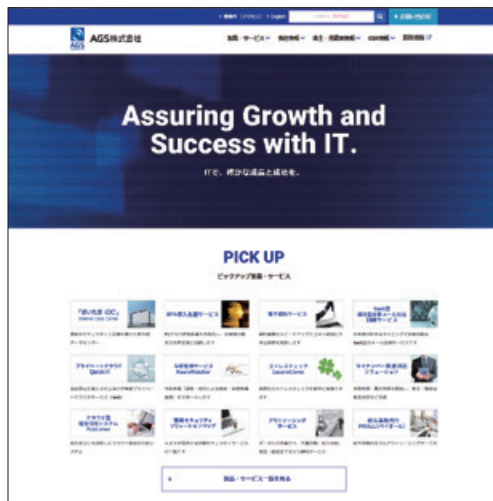
# ホームページのご案内

<https://www.agcs.co.jp/>



QRコード

## トップページ



当社のホームページでは、会社概要・事業内容をはじめ、ニュースリリース、IR情報などがご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

## トピックス・IRニュース



## 製品・サービス



## 株主・投資家情報



## 株主優待制度

対象となる株主様	優待の内容	発送時期
3月31日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	VJAギフトカード 1,000円分	6月頃
9月30日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	QUOカード 1,000円分	12月頃



※継続保有1年以上とは  
毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載された株主様を株主優待贈呈の対象といたします。

電話照会先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711（通話料無料）

## AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25  
TEL : 048-825-6000 FAX : 048-822-7337  
<https://www.agcs.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。